

Rotary



第1地域 RRFC 便り 10月号

2021年10月1日発行

飯村慎一ARRFC・次期RRFC

【世界平和は貧困救済から】

今期、RRFC補佐（第一地域）と“地域社会の経済発展のための大口寄付推進計画委員会”

の委員を拝命しております宇都宮90RCの飯村慎一です。日頃、皆様には財団への深いご理解と温かいご支援を賜り、感謝申し上げます。この度は、まだ馴染みの薄いこの“地域社会の経済発展のための大口寄付推進計画委員会”の委員としてご挨拶させていただきます。この委員会は、米国、カナダ、日本などからの7名で構成され、財団の7つの重点分野の“地域社会の経済発展”という重点分野を対象に大口寄付（1万ドル以上）を推進することを目的としております。ロータリーの使命は世界平和であります。各地で紛争は絶え間なく起こり、難民が増加しているのが現状です。

そして、その紛争の原因は貧困に起因していることが多いのも事実です。この世界の貧困問題に、自立自助の精神で持続可能な解決策をもたらすために活動しているのがこの重点分野です。特に、起業家による新ビジネスの立ち上げ支援、マイクロファイナンス（小口融資）の研修、経営指導などを行いながら人々に自立を促します。それにより、地域住民が貧困から解放され、経済的そして社会的に自立できるように支援しております。皆様から頂きましたロータリー財団への貴重な浄財は、これまでに地域経済の発展と貧困の軽減のために2,900万ドル（約32億円）が補助金として使われました。その使い道の内訳としましては、1位が職業訓練で、続いて農業開発、小規模企業の自立支援などです。御礼申し上げます。

ムハマド・ユヌス氏は、小口融資のマイクロクレジットで多くの貧しい人々を救済し、ノーベル賞を受賞しました。このユヌス氏が、2012年のバンコック国際大会で基調講演をされ、その最後に次の様な言葉を述べられました。『将来貧困が無くなった時代に、子供たちから”貧困とは何ですか？”と尋ねられたら、”昔は貧困があったけど、詳しくは百科事典に載っているから調べてごらん”と子供たちに答えられるような社会を、将来、築いていきましょう』。終了後、会場は感動の坩堝と化し、多くのロータリアンに感銘を与えました。

私達は、世界のロータリアンと手を取り合って、貧困問題に取り組み、地域社会の経済発展を推進しながら、ロータリーの究極の目的であります世界平和を目指して参ります。皆様には引き続き、財団へのご理解とご支援を賜りますように心よりお願い申し上げます。（飯村記）



飯村慎一 2019-22 ARRFC（第一地域）第2550 パストガバナー
宇都宮 90 ロータリークラブ

この号の内容

- 1 飯村慎一ARRFC
「世界平和は貧困救済から」
- 2 ロータリー財団
専門家グループコネクション
- 3 世界ポリオデーに行動しよう
- 4 年次基金(シェア)
災害救援基金
- 5 恒久基金
自動定期寄付
- 6 記念寄付、追悼寄付
従業員寄付への
マッチング(上乘せ)寄付
ロータリーのクレジット
- 7 関連リソース
- 8 PHS認証式
- 9 子規はどうして柿が好きだったか？



【専門家グループコネクション】

2021-24年度ロータリー財団専門家グループ委員長

ロータリーは今、非常に重要な分岐点にあります。私たちが培った経験や知識を基に、より大きなインパクトをもたらす人道的プロジェクトを実施できるよう注力していかなければなりません。専門家グループは、長期的計画を通じてこれを実現できるよう努めています。評価やアンケート調査に基づいたこの計画では、専門家グループの構成の明確化、積極的で目的意識のある参加、コミュニケーションの向上という三つの戦略的目的があります。この変化を実行する上で専門家グループが果たす役割。専門グループの活動は、グローバル補助金プロジェクトの評価に関連しています。私たちは、重点分野に従ってプロジェクトを評価し、現地視察や監査を行います。ロータリーでは最近、グローバル補助金プロジェクトの大きな成長が見られました。これはつまり、より多くのクラブや会員が積極的に参加していることの表れであり、素晴らしいニュースです。しかし、参加度合いが高まれば高まるほど、プロジェクトの各段階でのサポートがより重要となります。

コンサルタントとして活動を拡大させ、国際的／地域的なリソースパーソンとなることができます。つまり専門家グループは、世界一流のコンサルティング会社のようなものなのです。私たちは共にこの新たな変化に適応し、プロジェクトの質を高め、大規模プログラムを立案し、パートナーシップを構築し、ロータリー外から資金源(企業、財団、慈善家など)を模索していく必要があります。このプロセスにおいて、皆さんからの支援が必要です。未来は今、ここから始まるのです。心を込めて。

2021-24年度ロータリー財団専門家グループ副委員長

「2021-24 年度ロータリー財団専門家グループ副委員長メッセージ」
 昨年は、世界にとってもロータリー会員にとっても特異な一年でした。ロータリー財団は昨年度、過去最多となる 2000 件以上の補助金を承認し、世界中の地域社会でロータリー主導のプロジェクトが実施されました。これだけ多くの補助金活動が実施されている中、専門家グループはプロジェクトの管理、モニタリング、インパクトや効果の評価といった点で大きな役割を果たすことができます。専門家グループの[長期計画](#)では、専門家グループと地区との円滑なコミュニケーションを目指しているほか、地区ロータリー財団委員長、補助金委員長、国際奉仕委員長とのつながりを深める新たな方法を特定することに着目しています。地域や地区のリーダーである皆さんは、ロータリー財団補助金を通じてロータリー会員が末永い変化をもたらす手助けを行う上で重要な役割を果たします。皆さんのニュースレターやウェブサイト以下に以下の文言を入れて、専門家グループの認識を高めて頂ければ幸いです。」



マルセロ・ハイク委員長
 第4420地区（ブラジル）
 ロータリー財団管理委員



キャロリン・ジョンソン
 第7780地区（米国）
 パストガバナー

【地域／地区リーダーの皆さま：地元の専門家グループメンバーとの協力を推進しましょう】

ロータリーの重点分野や財務監査において職業上の専門知識を有するロータリー会員が500名以上いる[ロータリー財団専門家グループ](#)は、より充実した人道的プロジェクトを立案する上でロータリー会員を支援するボランティアのアドバイザーグループです。専門家グループには7名の[地域オーガナイザー](#)がおり、専門家グループとクラブ、地区、地域リーダーとの関係構築を担当しています。これらの地域オーガナイザーと協力し、クラブと地区のプロジェクトで専門家グループの知識を生かす方法を模索することをお勧めします。地区や国別で専門家グループのメンバーを検索したい場合は、My ROTARYの[専門家グループメンバー情報レポート](#)をご利用ください。

【世界ポリオデーに行動しよう】 世界ポリオデー2021 endpolio.org/ja**世界ポリオデーに行動を: 10月24日**

毎年、[世界ポリオデー](#)には、ロータリーのコミュニティが地域社会で活動し、世界ポリオ根絶活動への認識向上を行います。私たちがコミットメントを保ち続ければ、ポリオを人類史上2番目に根絶される疾病とすることができます。

活動をご計画ください。

全世界すべての子どもがポリオの予防接種を受け、ポリオを根絶できるよう、世界中で認識を高めるためにご協力ください。オンラインイベントを実施するメリットとして、より多くの人びとにインスピレーションを与え、ポリオ根絶活動への支援を働きかけることができるという点があります。

世界ポリオデーのツールキットで、活動の計画・推進に役立つ素材や資料をご活用ください。

【ロータリー財団の資金】

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。ロータリーの慈善部門である財団は、時間、資金、知識 を生かして活動するロータリアンの世界的ネットワーク、そして優先活動(ポリオ根絶や平和の推進など)における専門的知識を通じて、世界のニーズに応えています。

年次基金(シェア)

地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。「Every Rotarian, Every Year」の寄付推進活動は、以下のことをロータリー会員にお願いすることを目的としています。

- ・毎年、財団の年次基金に寄付する
- ・毎年、財団のプログラムや補助金に参加する

年次基金(シェア)へのご寄付は、人びとの生活をより良くするための補助金となって活用されます。年次基金(シェア)へのご寄付は、次の二つの資金に分けられます。47.5パーセントがWF(国際財団活動資金)へ 47.5パーセントがDDF(地区財団活動資金)へ、5パーセントが管理運営費へとなります。

財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムにWFを使用します。

一方、地区は、地区が選んだ財団プログラムや活動にDDFを配分できます。

財団では、寄付の3年後に、その資金をプログラムに使用する独自の3年周期システムを採用しています。地区は、この3年間に、十分な時間をかけてプログラムの計画や参加者の選考を行うことができます。例として、2021-22年度に行われた寄付の47.5%を、2024-25年度に使用できます。DDFの用途は、地区財団委員会が、クラブの意見を取り入れた上で決定します。地区は、DDFおよび恒久基金への寄付から生じた利用可能な収益の50パーセントまでを地区補助金として申請できます。地区は、DDFのいかなる額でもグローバル補助金に使用または寄贈することができます。

寄贈する場合は、ポリオプラス、平和構築プログラム、恒久基金への大口寄付推進計画、WF、災害救援基金、または他地区に寄贈できます。

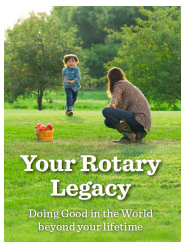
「DDF」は、各地域の重要なニーズに取り組むプロジェクトを行うの最適です。年次基金(シェア)へのご寄付は将来に利用可能なDDFをもたらします。クラブと地区は、ロータリークラブ・セントラルで寄付目標を設定し、進捗を確認・記録すべきです。シェア以外にも、WFまたはロータリーの重点分野のいずれかを指定して年次基金に寄付することができます。

「WF」または「重点分野を指定した年次基金への寄付」は、クラブの年次基金寄付目標と一人当たりの平均寄付額を計算する際に含められますが、DDFは生じません。年次基金への寄付はすべて、「Every Rotarian, Every Year」、「財団友の会」会員、ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となります。また、クラブ認証の対象となります。年次基金(シェア)へのご寄付は、財団補助金の主な資金源であるため、強く奨励されています。

災害救援基金

災害救援基金への寄付は、個人とクラブからの現金寄付、またはDDF寄贈によって行うことができます。この基金は、災害救援を目的とした一般的な基金であり、寄付を行うにあたって特定の災害を指定することはできません。年次基金とは別個の資金となりますが、災害救援基金への寄付は、「Every Rotarian, Every Year」、「財団友の会」会員、ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となります。また、クラブ認証の対象となります。グローバル補助金に充てることができます。

EVERY
ROTARIAN
EVERY
YEAR



恒久基金

ロータリー財団の恒久基金は、未来においても末永く、持続可能なプロジェクトの実施を可能にするものです。恒久基金への寄付は投資され、その元金が支出されることはなく、投資から生じた収益の一部が毎年度、財団補助金やプログラムに充てられます。

恒久基金への寄付は以下のような形で行うことができます。

- 現金、投資、そのほかの資産
- 生涯年金寄付（残余公益信託、贈与年金、共同出資収益基金など）
- 遺言や資産計画による遺贈
- 保険、年金、そのほかの金融受益者の指定

ご寄付の方法

寄付の送金

ご寄付は、rotary.org/ja/donateからクレジットカードで行えます。または、My ROTARYからダウンロード可能な「[ロータリー日本財団 寄付送金明細書（ロータリアン／クラブ用）](#)」をご利用ください。クラブ役員は、My ROTARYにログインした上で、クラブまたは会員に代わってオンラインで寄付できます。

不動産や証券など現金以外のご寄付については、RI日本事務局財団室（問い合わせ先：RIJPNTRF@rotary.org）までお問い合わせください。

ご寄付の際には、必ず会員ID番号をご明記ください（寄付の記録と認証のために必要となります）。

自動定期寄付

定期的（毎月、四半期ごと、年1回）に決まった額をご寄付いただく方法です。手間をかけずに簡単かつ安全に活動を支援できる方法です。自動的にご指定のクレジットカードで決済されますので、事務的な手間をかけずに継続してロータリー財団とその活動を支援できる方法です。設定はウェブサイトの[こちらのページ](#)をご利用ください。

寄付者は、オンラインでいつでも定期寄付の設定を変更またはキャンセルできます。My ROTARY（ログインが必要）から寄付者専用ページに進み、定期寄付の変更を行うことができます。ご質問がある場合は、日本事務局経理室にご連絡ください。



記念寄付、追悼寄付

ロータリー財団では、誰かを称えるため、または追悼を表すための寄付を行うことができます。rotary.org/ja/donateのページで「ご寄付」をクリックし、寄付先を選んだ上で、「記念寄付または追悼寄付をしたい」の部分に印を付けてください。寄付者が認証対象となり、領収証が発行されます。記念寄付を行う相手、または追悼寄付の場合はその家族に、寄付が行われたことが通知されます。通知方法はEメールか自分で印刷して送る方法があります。

税制上の理由から、実際に寄付した人以外を「寄付者」として寄付を行うことはできません。寄付の名義人となる人は、寄付を行わずに領収証を受領することになり、当人およびロータリー財団を法的リスクにさらすこととなります。ほかの人を対象とする財団認証について詳しくは、「ポール・ハリス・フェロー」と「認証ポイント」の項目をご覧ください。ご不明な点がありましたらmemorials@rotary.orgにお問い合わせください。

従業員寄付へのマッチング(上乘せ) 寄付

「マッチング寄付」とは、従業員が行う慈善寄付に対して、雇用主が上乘せして寄付をし、従業員による寄付の機会を支援するものです。北米でのマッチング寄付プログラムについては、rotary.org/matchinggiftsをご覧ください。関心のある企業がございましたら

RI日本事務局財団室(問い合わせ先:RIJPNTRF@rotary.org)までお知らせください。

雇用主が上乘せを行った場合、その認証対象は雇用主となり、領収証が発行されます。

ロータリーのクレジットカード

ロータリーのクレジットカードをご利用ください。カードをご利用いただくことで、購入額のうち一定の割合がロータリーのポリオ根絶活動への支援に充てられます。その際、カード利用者の追加負担は一切ありません。詳しくは、ウェブサイトの「ロータリーのクレジットカード」のページをご覧ください。ロータリー財団は、2000年にクレジットカードプログラムを開始して以来、このプログラムを通じて860万ドル以上を受領し、そのうち460万ドルがポリオ根絶の支援に充てられています。

Raise for Rotaryを用いたロータリー財団へのファンドレイジング

Raise for Rotaryとは、ロータリー財団のために個人やグループがオンラインで募金を行うことのできるツールです。個人の重要な節目・記念日やそのほかの特別なできごとを祝う方法として最適です。募金活動の運営者は、ソーシャルメディアやEメール、テキストメッセージでご自身の募金ページについて家族や友人、同僚、支援者に伝え、オンラインで行うことができます。

フェイスブックを用いたロータリー財団へのファンドレイジング

フェイスブックでは、ロータリーへの寄付とするための資金を募ることができます。寄付先となる非営利団体としてRotary InternationalまたはEnd Polio Nowのいずれかをお選びください。Rotary Internationalのページから受領された資金は、最も緊要なニーズに使用されるWF（国際財団活動資金）を支援します。End Polio Nowのページから受領された資金は、ポリオ根絶活動に充てられます。フェイスブックを通じた寄付は、その他のロータリー外部のプラットフォームと同様に、一つにまとまった寄付とみなされ、個人によるロータリー財団への寄付とはみなされません。また、ロータリー日本財団の税制上の優遇措置は受けられません。ご寄付による認証と税制上の優遇措置を受けることを希望される場合は、ロータリーのウェブサイトから日本円でご寄付ください。

関連リソース

- **ロータリー財団の基本コース**：オンラインのラーニングセンターにあるコースで、ロータリー財団の基本情報を提供。
- **「寄付推進&補助金」ニュースレター**：ファンドレイジング（寄付推進）と補助金に関する情報を四半期ごとに紹介。
- **「Every Rotarian, Every Year」パンフレット**：クラブ会員への配布用。ロータリアンがロータリー財団の補助金や活動に参加し、また財団を支援することの重要性を伝えるパンフレット。
- **ロータリーへの遺贈用の書式**：遺贈を含む恒久基金への寄付、「遺贈友の会」への入会などについて説明したパンフレット。
- **「明日を支えるご支援：ロータリーへの遺贈」パンフレット**：恒久基金と25,000ドル以上の遺贈に関する詳しい情報を掲載し、複数の寄付者のメッセージを紹介（限定印刷）。
- **「ロータリーの恒久基金」のページ**：恒久基金と遺贈の概要情報のほか、遺贈用のオンラインフォームへのリンクと地区リーダー用の資料を掲載。
- **計画寄付**：遺言や公益信託など、計画寄付に関する情報を掲載。



- **ロータリークラブ・セントラル**: 会員増強、財団への寄付、奉仕プロジェクト、若いリーダーの参加、公共イメージ、会長賞など、クラブの各種目標を設定し、達成に向けた進捗を確認・記録できるオンラインツール。
- **DDFのベストプラクティスに関するパンフレット**: DDFの使用を最大化するための計画と実施において地区が取るべきステップを紹介。

(※ロータリー財団参照ガイドより転記)

【PHS認証式(入会式)を札幌で開催】



「PHSポールハリスソサエティーの認証式」のご案内を申し上げます」

日 時: 2022年 4月23日(土)前夜祭 18時(17時集合)

4月24日(日)認証式 11時(開宴)

場 所: 前夜祭 札幌ビール園(札幌市東区)

認証式 プレミアホテル TSUBAKI

会 費: 前夜祭と認証式で1万5千円

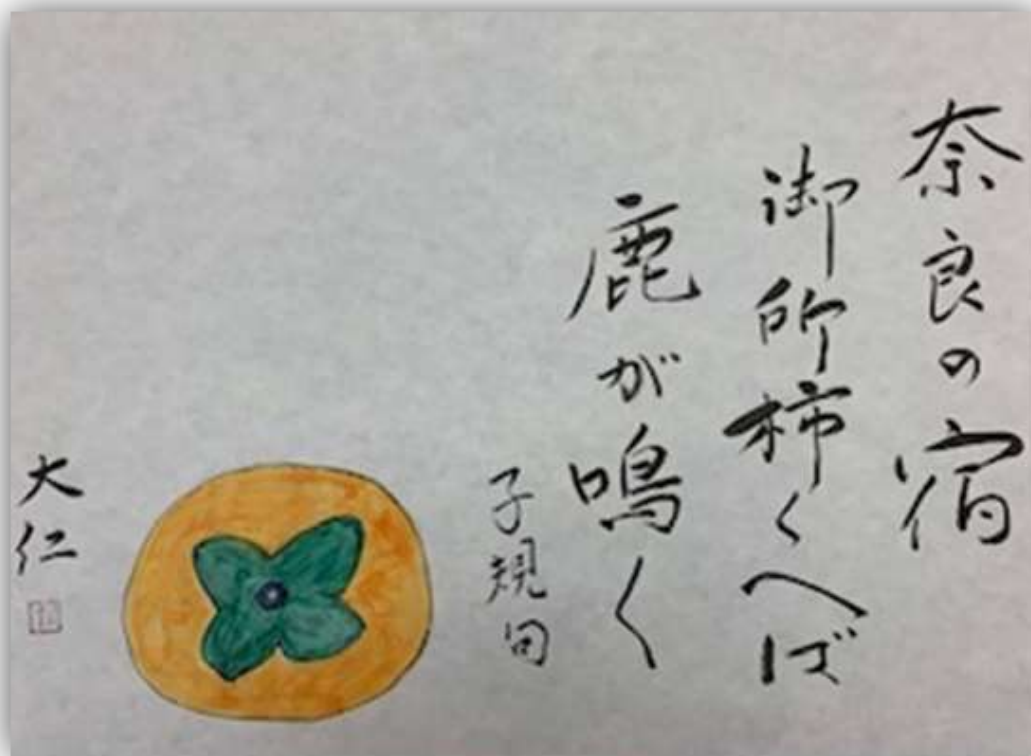
宿 泊: プレミアホテル TSUBAKI 札幌

〒062-0904 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1

TEL (011-821-1111)

FAX(011-842-6654) 宿泊代: 14,000 円(一人朝食付き)

【子規はどうして柿が好きだったか？柿の絵と句】



今回も子規の句に柿の絵を描きました。ここまで柿が好きな子規のことが私は好きです。皆様ご存知でしたか。10月26日を「柿の日」と制定されたそうです。この句も奈良が出てきます。「柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺」も奈良ですね。柿の時期になるとお医者さんが青くなったと聞いたことはありませんか。柿は身体に良いそうです。体の熱を下げる効果もあるとか言います。もう一つ、10月に忘れてはいけませんが、10月24日の「[世界ポリオデー](#)」です。この日には是非、全世界のロータリアンがポリオ根絶を願ってイベントの実施をお願いいたします。「秋冷えの斑鳩の里に、鐘が鳴る」は明治28年10月のエピソードを記しています。時期は明治28年10月末から11月のはじめの出来事となっています。明治34年(1901年)の文章記されていました。兎に角子規の柿好きは信じがたい程度であったと言います。しかし、体調が思わしくなくなると好きな柿が食べられないことへの残念な句が出てきます。それを少し紹介し、今月号を終えたいと思います。早すぎる子規の人生も体調の変化に気付いていたであろう。後生を願い仏前に柿を供える句を見つけました。

「初なりの 柿を仏に そなへけり」

どのような心境であったかは定かではありませんが、人間死んだことのない人ばかりです。明治34年には

「柿くふも 今年ばかりと 思ひけり」

をつくり、その翌年、柿が出まわるにはまだ少し早い9月19日に不帰の客となるのです。僅か34歳の人生になんと20万首の句を詠んだ天才であったと思います。(羽部記)